



発行所 飯田市松尾公民館
編集人 松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷(株)

飯田市初代産業親善大使のおぐねー 「松尾に来たわよ〜」



飯田市出身のヘアメイクアップアーティスト「おぐねー」こと小椋ケンイチさんの講演が2月1日午後3時より松尾公民館ホールであり、200を超える席が聴衆で満席となった。

(内容は3面に)

飯田市で観測史上最深81センチ 松尾地区でも雪!雪!!雪!!!

2月、急速に発達した太平洋側の低気圧が関東甲信越に記録的な大雪をもたらした。飯田市においては7日から9日にかけて最深33センチの積雪、さらに14日から15日にかけては観測史上最深の81センチを記録した。



雪の重みで折れた枝(水城区)

田線の運休など主要交通網に影響が出たほか、歩行中や雪かき時のけが、ビニールハウスの倒壊などの被害が多数発生した。特に14日からの雪は、停滞した低気圧により丸2日間降り続き、前週の残雪の上に降り積もった。そのため各地で道路の除雪作業がなかなか進まず、松尾地区

の主要道路にも動けない車が続出した。また水城区の飯田市史跡「天然記念物に指定されている「水佐代獅子塚のエドヒガン」や毛賀区の「毛賀くよとのシダレザクラ」も枝が折れるなどの被害を受けた。水城区・勝野薫区長は「今回の雪で上の枝が一部折れた。大きくせり出した太い枝は、雪の重みで先端が雪に埋もれ、危うく折れるかと心配した。が、かなりの重みにも耐え、なんとか持ちこたえてくれて、その強さに驚いた。これからもずっと美しい花が咲くように、折れた部分の手当て



「この雪どこに持っていこう」八幡町区にて

を早急にしたい」と語った。ようやく雪がやんだ16日午後から家族や近所が総出で雪かきに精を出す光景が見られた。

成人式を終えて

成人式実行委員 金田結香(常盤台区)



恩師と共に

1月12日の晴れた日、私たちの成人式が行われました。写真撮影時には大勢の保護者の方に見守られ、改めて自分たちが愛情を持って育てられたことを実感しました。久しぶりに会った友人と、会話を交わしみんなが笑顔になっていたのが印象的でした。実行委員の私たちは、準備してきたものが喜んでもらえるか心配でした。小学校の頃の写真を振り返り、懐かしいと言ったり、懐かしくて涙がこぼれ出たり、幼い頃の思い出が蘇る瞬間がありました。素敵な成人式をありがとうございました。

成人式を終え、自分の成長や自分を支えてくれる人の温かさを感じました。ここまで成長することができたことは支えてくれた人のお陰だと感謝し、これから恩返しができるように頑張っていきます。



1月12日松尾地区で218人の新成人が成人式を迎えた

館長つらい

3年ほど前にテレビで松尾相撲クラブのことが放映されていました。負けた子がベソをかきながら土俵から降りて来た時、コーチが勝ち負けより礼儀として「礼」をするのが当然と、「礼」をしなかつた子を叱っていたのです。松尾小学校の標語「まけるな」が伝えたかった自分の心の弱さに負けるなということでしょう。

思うにあいさつは親から先にするもの。先生から先にするもの。そうすることで子供も分かっていくのだと思います。

また、「ありがとう」という言葉には「つき」を呼ぶ不思議な力があるそうです。そんな簡単なことか?と思ってしまう。実際に「ありがとう」を言っていると、いろいろな効果があったそうです。

“つき”を呼ぶ魔法の言葉

- 1、心に思うだけで自分が明るくなる。
 - 2、心が穏やかになった。
 - 3、周囲の人が自分に優しくなったように感じる。
- 要はやってみる勇氣があるかないか、です。心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。

自動車のハンドルなどに「あそび」があるように、心にもゆとりユーモアが必要でしょう。川柳で少しでも心に余裕が芽生えればと思います。

昔のよ 言いつつ増える 妻の服 (桃の木)

第11回第一生命 サラリーマン川柳より

松風

2月に開幕したソチオリンピックが数々のドラマと感動を生み華やかに閉幕した▼競技の中で日本人選手の活躍が光った。男子フィギュアスケートの羽生結弦選手は19歳の若さで日本に金メダルをもたらした。国民を熱狂させた。他にも10代の選手の活躍に注目が集まった▼ジャンプのベテラン葛西紀明選手は41歳という年齢で銀メダルを獲得し、また上を狙うという。諦めないことがいかに大切かを教えられた▼大会後半の女子フィギュアスケートでは、期待の浅田真央選手は惜しくもメダルは逃したが、最後に4年間の集大成ともいうすばらしい演技で世界中を沸かせた。終了後「これで皆さんに恩返しできた」と語ったが、私たちこそ大きな感動をもらった。メダルを取る取らないに関わらず、競技が終わった後の選手は、どの選手も清々しい。そして感謝の言葉を忘れない。夢と希望をもたらしたオリンピックだった▼2020年には再び東京オリンピックが開催される。現在小中学校に通う子供たちも6年後には活躍できる年齢になる。松尾からオリンピックの選手が出ることを密かに期待している。

松尾の人口
男子 6,124人
女子 6,879人
計 13,003人
世帯数 4,780世帯
2月末現在

松尾地区
文化祭

文化活動の成果を一堂に

2月1・2日松尾地区文化祭が松尾公民館で開催された。今年も例年通り商工会松尾支部女性部により豚汁が振舞われ、自転車シミュレーター体験やおもしろ科学教室、消防自動車と遊ぼう、ミニSLに乗ろうなどが親子連れの人気を集めた。文化展では分館展示や様々な団体の作品が展示され、数々の力作に来館者は目を見張った。また、「おぐねー」こと小椋ケンイチさんのトイ

クライブが開催された。2日目の芸能発表会ではおよそ250人の入場者に見守られ、29団体が、日頃の活動の成果を披露した。なかでも2年ぶりとなる「はとみね座」による水戸黄門漫遊記「オレオレ詐欺にご用心」の巻では、昨年流行語大賞にノミネートされた言葉を取り入れての演劇に、観客は笑いの渦に巻き込まれていた。



「もうすぐりっぱな1年生〜♪」



寺所獅子舞とお囃子



「遠くへ行きたい〜」



オレオレ詐欺にご用心♪



松尾村歌を演奏



合唱「天使と羊飼いの」



ダンススポーツクラブ飯田



合唱「空のスタートライン」



決まった!



フラダンス「バリバリの浜辺」



区長さんもハメハメハ〜♪

催し物

- ▼ふれあい子ども広場
 - おもしろ科学教室の万華鏡作り
 - ミニSLに乗ろう
 - 消防自動車と遊ぼう
- ▼無料試食コーナー
 - 豚汁・おしるこ
 - ポップコーン
 - 高野豆腐のふんわりドーナツ
- ▼体験コーナー
 - 自転車シミュレーター
 - 骨密度・体組成測定
 - 新聞紙によるエコバック作製
 - 体力テストとストレッチ
- ▼無償提供コーナー
 - チャイルドシート
 - 古本市
- ▼広報委員会企画
 - クイズラリー

今年度も大勢の皆さんにご参加いただき、誠にありがとうございました。公民館の各部屋には、絵画や写真、手芸品など皆さんの力作が所狭しと並んでいました。芸能発表会でも、多くの団体の皆さんが日頃の成果を発表されていました。改めて、松尾地区の文化度の高さを感じました。また、1日目には小椋ケンイチさんに講演をしていただき、飯田の良いところを再認識させてもらえる、良い機会になりました。最後に、準備や運営に携わっていただいたスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

今年も多く皆さんのご来場ありがとうございました。おぐねートークライブは、250人を超える参加で地元飯田の再発見につながる話から芸能界の裏話まで聞くことができ、有意義で楽しい一時を過ごせたのではないのでしょうか。また、参加者の9割近くが女性であることや幅広い年代の方が参加されるなどの特徴がありました。今年も緑中の生徒が13人運営に参加・協力してくれました。公民館活動が将来につながる貴重な体験となればと思います。



まじづくり委員会
宮下吉彰会長



丸山基治文化委員長



さあ文化祭の始まりです

各地区でも芸能・文化祭

代田

前日の大雪が残る2月9日に、代田文化祭が行われた。出品は水引細工・折り紙・押花絵（JA女性部）・ぬいぐるみ・ガラス工芸品・編み物・写真・水墨画・手芸品・書道・高齢者クラブ作品（桜）・歴史教材・昔の教科書・鐘など多岐にわたり1002点を数えた。ジャパンフラワーオー

新井

2月15・16日、あの大雪の日の新井区文化祭が開催された。飯田測候所観測史上最高を記録した大雪に分館役員はまず雪かきから準備、大型パワートレーラーが駐車場を確保、午前10時から大雪にもめげず大切な作品が続々搬入された。1階2階の会場をフルに使い、唸らせる様な作品が色々なジャンルにわたり展示された。茶の峯会の抹茶接待は着物姿で彩を添え、男の料理教室の天ぷら蕎麦が参観者の腹を満たした。手作りコンニャクとモツ煮も皆を喜ばせた。

毛賀



生け花「花鳥風月」

2月23日、毛賀芸能祭が行われた。前週の大雪で足元が悪い中にもかかわらず、多くの区民が集まった。演目は合唱・民謡・剣舞・浪曲・マジック・寸劇・ハンドベルと多岐にわたった。出演者も小学生から高齢者まで幅広かった。小学生の踊りには拍手が沸き、壮年会の寸劇



手づくり雑に驚嘆

おぐねートークライブ開催!

☆飯田の産業応援しちゃおう! ☆女性はキレイでなくちゃ!



おぐねーは2013年より飯田市産業親善大使、飯田水引大使、市田柿大使を務め、飯田の特産品を全国に広めようと尽力している。講演会では、「飯田を離れて、改めて飯田には全国に自慢できるものがたくさんあると分かった。温泉・水・酒・野菜・果物など…。ただ、住んでいる人が気づいていないことが惜しい」と飯田の良さを語った。

本業のヘアメイクアップアーティストの話では「お風呂に入ったらず鏡を見ること」と答えていた。

「寿命が延びた分、化粧品は進化もあって、綺麗でいる年数が長くなった。女性は幾つになっても綺麗でいたいもの。70でも80でも諦めない気持ちで世の中を元気にさせている」と力を込めて語った。

質問コーナーでは、「綺麗を保つコツは?」の問いに、「体を洗うときはスポンジではなく手を使うと、スタイルの変化が分かる」と答えていた。



上手にできたね



墨松会作品



ドーナツおいしい!



あなたどうだった?



クイズラリーやっています



団員募集しています



案外むずかしいなあ



豚汁どうぞ~



こうやって切るんだよ



たっのしいなあ~!



うまいもんだね~



森の中にドラゴンが!

中学生も大活躍

今年の松尾地区文化祭では13人の緑ヶ丘中学生がボランティアで参加した。1日の準備段階から、パネルの運搬や設置、机の移動など率先して動いていた。今回生徒会で活動することになったそうだが、運動会ボランティアに続き、中学生の積極的な参加が目立った。



手を挟まないように気をつけて!

ふれあいひろば

***出張サイエンス(寺所区)**
1月19日松尾小学校PTA寺所支部による「おたのしみ会」が寺所コミュニティセンターで行われ、子供40人、大人6人が参加した。出張依頼を受けた松尾サイエンスが『風船の串刺し』『色が変わる水』のサイエンスショーを行った後、浮沈子や風船ロケット作りをして楽しいひと時を過ごした。

***松尾小学校水引教室**
2月18日松尾小学校4年生を対象に、松尾公民館主催の水引教室が松尾公民館にて行われた。この日、前半61人の児童と2人の教諭、後半65人の児童と2人の教諭の、計130人が「淡路結びのしおり」作成に取り組みした。

***日中文化交流会**
3月2日常盤台集会所にて日中文化交流会が行われた。常盤太鼓「心」による演奏で始まり、飯田女子高校人形劇クラブによる人形劇公演のアトラクション。市民条例の解説、「ゲームで知るゴミ分別」で楽しんだ後中華菓子「麻花」と菓子作りの実演、茶話会を行い交流を深めた。

松尾消防団員募集

大切な人を、自分たちの暮らす町を、働く町を守る若い力を必要としています。
18歳~33歳までの健康な方、待っています。
連絡先

飯田消防団 松尾分団
平成26年度分団長 仁木 庄一
(携帯)080-1099-4803

収穫した大豆でみそ作りを体験

2月22日松尾公民館実習室にて、公民館総務企画委員会主催の「まけるな農園・冬の収穫祭」が行われ、14人の親子が参加した。今回はみそ作り体験を主に、わら包み納豆・大豆入りマッシュマロフレーク・煮豆・ポップコーンなどが作られた。みそ作りの指導は、毛賀区の「豆の会」に所属する塩澤みどりさんと北原三枝子さんに依頼。前日よりスタッフと共に、農園で収穫された「つぶほまれ」という銘柄の極大大豆20キをあくを取りながら4時間煮て冷ます。当日は活動に使う分以外は塩澤さん宅で所有の粉砕機でつぶし、運搬。親子が集合する頃には人数分の大きなすり鉢にゆで豆が入れられ準備万端だった。

角田禊治公民館長のあいさつの後、早速みそ作りが始まった。まず親子が大きなすりこぎで豆をつぶす。「少し粒が残っている方がいいですよ」と塩澤さん。つぶした後は米麴と混ぜ合わせる。混ぜているうちに粘土のようになると「紙粘土みたい」「ごろだんごだ」とあちらこちらから声が。空気を抜きながら丸めて容器に詰め、雑菌防止に塩蓋をし作業は終了。子供たちは「このみそで何を作ろう」「みそ汁だけじゃつまらない」と半年後の完成を思い浮かべながら話していた。全ての作業が終わると場所を和室に移して今度はお楽しみ会。子供たちは何よりこれが楽しみという様子であった。「まけるな農園」は来年も引き続き親子の食農体験として実施する。問い合わせは松尾公民館まで。



婦人会の活動報告

このほど松尾地区婦人会は、会員が1年間集めたペットボトルのキャップ(45リットル袋8袋分)を松尾小学校へ贈った。これは、昨年度緑ヶ丘中学校が生徒会活動でペットボトルのキャップ収集を行っていることを知った会員の提案により始まったもの。今年度は、

地元地区の松尾小学校でも収集を行っていることを知り、今回の協力となった。キャップは回収業者により換金され、NPO法人「世界の子どもにワクチンを」日本委員会へ送られる。



寺所区 いっしょにおそぼ!

松尾東保育園 園児との交流



寺所区福祉部は毎月「健康のつどい」を開催し、健康チェックや旅行などを企画している。1月は同地区にある松尾東保育園の園児との交流を23日、寺所

コミュニティ消防センターにて行った。15人の寺所有志参加者と約40人の園児が向かい合い、保育士の司会であいさつから始まって、お互いの歌の披露や手遊びや自己紹介などで意気投合し風船ゲームなどを一緒に楽しんだ。子供のパワーに若干圧倒されながらも、終始笑顔と笑い声が飛び交っていた。プレゼント交換では園児にはおやつが配られ、寺所区の参

久井区

小学生が 天神様と新年会を

久井区では1月19日、小学生が天神様と新年会を行った。集会所で「天神様の唄」を30分ほど練習し、10時に出発。上段にある天神様へ詣り、菓子を供えて学業成就を祈念した後、約1時間かけて唄をうたいながら地区内を回った。

例年「回ったことに気がつかなかった」との声が聞かれたため、今年は順路と

時刻を回覧で告知。また、高学年の6人が列の前後で太鼓を叩いたこともあって、音を聞きつけた住民から新年にない多額の祝儀が集まった。この太鼓は昨年、体育部が手作りで用意したもので運動会の応援で活躍し、小学生の行事でも「おんべ」に続き出番となった。

その後、集会所でフルーツバスケット、ビンゴなどを



うたって、遊んで、いただきま〜す

常盤台区

いきいき教室が 全国会長賞を受賞

平成25年度長野県高齢者クラブの研修会において、常盤台いきいき教室が、介護予防・認知症予防を目的とした運動ゲームなどを行ってきた年間の活動を発表したところ、県担当者から素晴らしい内容であると推薦を受け全国老人クラブ連合会から『2013仲間づくり活動部門・活動賞』として表彰された。

発表した野牧あさるさん

松尾公民館事業

越中八尾「おわら風の盆」in松尾

いよいよ、あの越中おわら風の盆が松尾にやってくる。当日は、松尾地区踊り連盟による踊りのほか、松尾小学校児童による踊りも披露される。

越中八尾「おわら風の盆」in松尾

4/26(土)

16時00分開場
17時00分開演
会場:松尾小学校体育館
入場無料

明区

ストレッチングってすごい

1月31日明区コミュニティ防災センターで、保健指導員主催の、ストレッチ体操の健康教室が行われた。平日の午前中ということではあったが、女性23人、男性1人(区長)の合計24人の参加で、健康運動指導士の村澤由美子先生の指導のもと2時間あまりストレッチ体操を行った。

まず足首をほぐす体操から始まり、ふくらはぎ、ももへと徐々に上へあがって、叩いたり押したりを行った。ひとつの動作をゆっくりと時間をかけて行い、無理をしない自分のペースで進めていくストレッチ

加者には園児の手作りキーホルダーが配られた。平澤篤史福祉部長は「とても楽しんでいただけて嬉

しい。今後集いに参加するメンバーをもっと増やして、盛り上げていきたい」と語った。

ストレッチ体操で、片足が終わると左右の足の長さが違っていき、伸ばしほぐしていった。ひと通りのストレッチ体操を終える頃には、汗ばむくらいであった。

村澤先生のストレッチ体操はあちこちで行われており、人気のある教室で、今回も常連が大勢参加していた。保健指導員の北村京子さんは「運動しなければ思っている人は多い。これがきっかけになってもらえれば嬉しい」と話していた。



日赤奉仕団 松尾分団

新しい団服を購入

飯田市赤十字奉仕団では、六十数年にわたり白エプロンを団服として奉仕活動時に着用してきた。今まで女性団員中心の奉仕活動であったが、最近はいく隊を中心に男性団員も増加し、男女共有できる団服が必要となり検討してきた。

そして平成25年度より新しい団服に変更することとなった。

新しい団服の色は、伝統的に使用してきた白エプロンを受け

継いだ白とし、活動しやすい耐久性や防水性防風性そして蒸れ防止に優れた素材を使用している。

松尾分団では、八幡宮紅葉ライトアップイベントの五平餅販売収益金10万円をこの購入費の一部に充てた。



救急医療情報キット配布開始

このキットはかかりつけ医・薬剤情報・緊急連絡先などを記入する用紙と、用紙を入れ冷蔵庫へ保管する透明な筒型容器、キットの存在を示すステッカー2種3枚からなり、緊急事態発生時にキットの情報を活用し、適切で迅速な対応が行えるようにするものである。

松尾地区民生児童委員協議会事務局の北澤五月さんの話では、「毎年民生児童委員による点検調査によりキットの追加配布や情報用紙の記載事項の更新を指導することが重要である。また、各区で住民支え合いマップを平成25年度中に作成に着手することになっているが、すでに2地区が地図の電子化まで進んでいる。これは各伍組単位で組合内の危険場所や避難所・井戸・消火栓などと要援護者世帯・支援者世帯を記入した住宅地図で、作成過程で地域の要援護世帯や危険場所などの課題を共有し、共通の認識を育み協力し合う体制を育成するのが目的です」とのことであった。

飯田市の介護高齢課高齢者係では、1月より平成25年度65歳以上の独居高齢者に、民生児童委員による救急医療情報キットの配布を開始した。(松尾地区の対象者は362人)

飯田市の介護高齢課高齢者係では、1月より平成25年度65歳以上の独居高齢者に、民生児童委員による救急医療情報キットの配布を開始した。(松尾地区の対象者は362人)

